

Narukyo-Kawaraban

# 鳴教かわら版

No. 10

学部教員就職率  
8年連続

全国第1位

文部科学省が2018年（平成30年）2月に公表した国立の教員養成学部・大学（教員養成課程）の2017年3月卒業者の就職状況において、本学は**教員就職率8年連続全国第1位**の栄誉に輝きました。

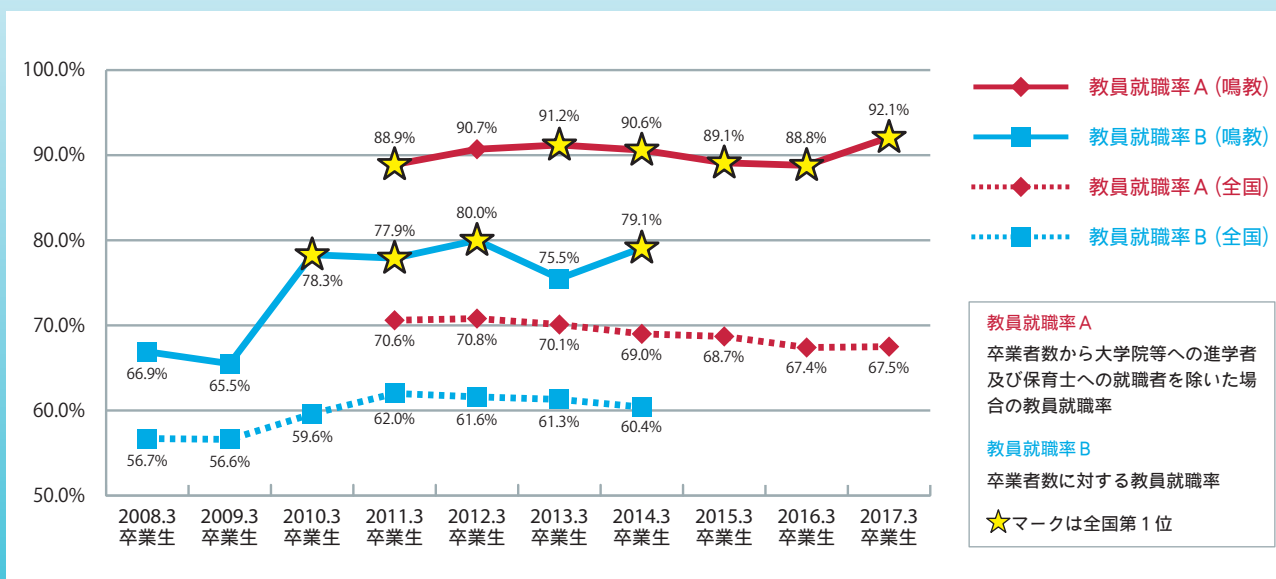
また、**教職大学院教員就職率も、4年連続全国第1位（100%）**を達成。

さらに、本学独自の取組である**学校教員養成プログラム受講者（修士課程）も教員就職率79.5%**と高水準を維持し、多くの卒業生・修了生が教師としての人生の緒につきました。

本学の2004年（平成16年）3月卒業者の教員就職率は、全国48の国立教員養成大学・学部の中で44位でした。

しかし、大学教育を見直し、全学を挙げた教員就職支援の取組によって教員就職率が向上し、ついに2010年（平成22年）3月卒業者の教員就職率が全国第1位となり、現在に続いています。

鳴門教育大学学校教育学部卒業者の教員就職率の推移（過去10年間）



8年連続は、2010～12年（平成22～24年）の3年間の教員就職率（全学生対象）と2013～17年（平成25～29年）の教員就職率（大学院進学者と保育士就職者を除いたもの）を通算したものです。

## 3年目を迎えたBPプロジェクト (いじめ防止支援プロジェクト) がシンポジウムを開催

2018年(平成30年)2月11日(日)、2015年4月の発足から3年目となるBPプロジェクト(宮城教育大学、上越教育大学、鳴門教育大学及び福岡教育大学の4大学による協働参加型プロジェクト)のシンポジウムが東京で開催され、全国から教育委員会関係者、教員、学生、一般人等、約170人が参加しました。

本シンポジウムはBPプロジェクトの中間報告の場として、各大学の取組報告や、各大学の理事、副学長及び教授による座談会形式の討論会を行いました。

続いて、国立教育政策研究所の有松育子所長の来賓挨拶、鳴門教育大学の森田洋司特任教授による基調講演、公益社団法人日本PTA全国協議会の齋藤芳尚副会長及び東京都教育庁指導部研修部教育開発課の志村安統括指導主事による取組紹介があり、いじめ防止支援に係る知見を得る機会となり、参加者から大変好評を博しました。

本プロジェクトは、2018年度には各大学の実績・成果を集約し、連携4大学と協力機関が連携協力した教員養成・研修に還元させる新たな事業内容の構築に向けて検討を行うこととしています。本学は、いじめ問題の改善に更に寄与すべく、本プロジェクトに、より一層取り組んでいきます。



国立教育政策研究所  
有松育子所長



鳴門教育大学  
森田洋司特任教授



東京都教育庁  
指導部研修部教育開発課  
志村安統括指導主事



(公社)日本PTA全国協議会  
齋藤芳尚副会長

2018年9月1日(土)、本学主催のBPプロジェクト研修会を、初めての県外開催となる沖縄で実施します。

## 国際教育協力20年を記念し、国際教育オープンフォーラムを開催



文部科学省  
里見朋香大臣官房国際課長

2018年3月2日(金)、本学における国際教育協力20年目の節目にあたり、これまでの国際教育協力の経験及び異文化理解教育を共有し、今後の効果的な国際教育協力の方策を探ることを目的に、東京で国際教育オープンフォーラムを開催しました。

このフォーラムには、全国から教育関係者、国際協力関係者、教科書出版会社、学校教材開発販売会社、国際協力事業関係コンサルタント会社、一般人等、約120人が参加しました。

山下一夫学長が開会の挨拶を行い、本学の国際教育の歩みと本フォーラムの意義について述べました。続いて、小澤大成本学教員教育国際協力センター所長が本学の特色を生かしたグローバル教員養成及び国内外の国際貢献への取組を報告しました。さらに、文部科学省の里見朋香大臣官房国際課長(2018年4月から東京大学理事)、モザンビーク共和国教育省のマハランベ国立試験・認定・資格審査研究所所長(前教員養成局長)、JICA(国際協力機構)の石原伸一人間開発部次長兼基礎教育グループ長による講演、高等教育機関や関連企業による取組報告が行われました。

「日本型教育の海外展開」の関係者の相互理解を増進し、国際教育協力の全体像を俯瞰するとともに、関係者間の情報交換やネットワークを構築する良い機会となりました。



モザンビーク共和国教育省  
MAHALAMBE Feliciano Mapezuane  
(マハランベ フェリシアーノ マペズアーネ)  
国立試験・認定・資格審査研究所所長

2018年5月28日(月)から6月15日(金)にかけて、JICA受託研修「平成30年度国別研修モザンビーク『教員養成校における現職教員教授法改善』」のため、セリマネ教員養成局長をはじめ、8名が来校しました。



## 四国地区国立4大学間での教職大学院の単位互換に関する協定締結式を挙

2018年3月6日(火)、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学及び高知大学は、高知市において、教職大学院の単位互換に関する協定締結式を挙

行しました。4大学は、これまでに各大学の教育部長、研究科長等からなる四国地区教職大学院連携協力推進協議会において、教職大学院における緊密な連携・協力を推進し、それぞれの教職大学院における教育内容の充実等を図ることにより、四国地域の教員養成・研修の高度化を図ることをもって社会に貢献するため、教職大学院に係る単位互換を中心に議論を重ねており、2018年度の本格実施を前に、協定の締結となりました。

協定締結式は、山下一夫<sup>かけひ</sup>学長、<sup>か</sup>寛善行香川大学長、大橋裕一<sup>あ</sup>愛媛大学長、脇口宏<sup>た</sup>高知大学長のほか、立会人として文部科学省の柳澤好治<sup>な</sup>教員養成企画室長(2018年4月から初等中等教育局教職員課長)、野地澄晴<sup>の</sup>徳島大学長も列席され、盛大に執り行われました。

今後も、大学院連携による機能強化の実現を図るとともに、将来的には各大学の特色を生かした教員養成・研修の相補の連携体制「四国地区教職高度化アライアンス(仮称)」の構築に向けて、連携・協力を推進していきます。



(左から)野地徳島大学長、山下鳴門教育大学長、寛香川大学長、大橋愛媛大学長、脇口高知大学長、柳澤教員養成企画室長

## 美馬市と連携協力に関する協定等を締結

2017年12月21日(木)、美馬市役所において徳島県美馬市との連携協力に関する協定締結式を挙

行しました。この協定は、両者が包括的な連携のもと、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的としており、本協定締結に則して、同日付けで「美馬市、美馬市教育委員会及び国立大学法人鳴門教育大学小学校英語教育センターとの美馬市が実施する英語教育の推進及び発展の連携協定に関する覚書」を交わしました。

これからも本学は、教員養成のリーダー大学として、地域の教育ニーズに沿った教育モデルを提供できるよう貢献していきます。



(左から)光山利幸美馬市教育委員会教育長、藤田元治美馬市長、山下学長

## 『国立大学法人鳴門教育大学教育研究拠点校』認定記念式典を挙

行しました。2018年5月11日(金)、鳴門中学校において、鳴門市学園都市化構想「国立大学法人鳴門教育大学教育研究拠点校」認定記念式典を挙

行しました。本学は、3月9日に鳴門市鳴門町地区の5校園を「教育研究拠点校」に認定しており、今年度は新たに、英語の授業におけるタブレット端末の活用(鳴門東小)や、発達に気になる園児に対する支援方法に関する職員研修(認定こども園IZUMI)などを実施します。

式典には、鳴門市の泉市長をはじめ、谷副市長、鳴門市教育委員会の安田教育長や教育研究拠点校の校園長らが出席し、鳴門市学園都市化構想の推進に期待が寄せられました。

### 【教育研究拠点校】

学園都市化構想のもと、拠点校は大学とともに、

- ①実習に関すること
  - ②生徒指導及びいじめ防止に関すること
  - ③授業改善に関すること
  - ④学力向上に関すること
  - ⑤教職員の研修に関すること
- を柱として、一層の連携を推進する。

(認定5校園)

認定こども園IZUMI、成稔幼稚園、鳴門西小学校、鳴門東小学校、鳴門中学校



山下学長と泉市長(前列中央)を囲んでの記念撮影

## はたお 附属特別支援学校高等部3年生の機織り作品が審査員特別賞を受賞

鳴門教育大学附属特別支援学校高等部の田中 碧<sup>みどり</sup>さん (2018年3月卒業) の機織り作品「キラキラ」(卒業制作) が、第3回「障がい者アーティストの卵発掘展 (主催: 徳島県障がい福祉課)」で「審査員特別賞」を受賞しました。

出展作品は徳島県近代美術館に展示され、展示期間の最終日 (3月4日(日)) に行われた授賞式で、飯泉嘉門徳島県知事から賞状と副賞が贈られました。同発掘展後は、4月27日まで県庁1階の「すだちくんテラス」に展示されました。

附属特別支援学校では、児童生徒一人ひとりの特性や発達段階に即して、自立と社会参加に向けた集団化を図っています。その一環として、国や徳島県の推進する、障がいの有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重し合い、理解し合いながら共に生きていく「共生社会」の形成・実現を目指した、障がい者のスポーツ大会、芸術活動及び技能競技会等にも積極的に参加しています。



(左) 受賞した機織り作品「キラキラ」  
(右) 飯泉嘉門徳島県知事から賞状を贈られる田中碧さん

## 四国地区国立大学附属学校・園PTA 実践活動協議会等を開催

2018年4月27日(金)、本学附属中学校及び幼稚園が主幹校となり、今年度の四国国立大学附属学校連盟・同PTA連合会の総会並びに研究集会・実践活動協議会等が、附属中学校で開催され、約300人が参加しました。

文部科学省の高田行紀教員養成企画室長、全国国立大学附属学校PTA連合会の呉本啓郎会長、田中一晃事務局長も参加されました。お三人から、鳴門教育大学と附属学校園が大学のガバナンスの下に連携がとれており、他大学の附属学校や地元の学校に対してモデルとなる取組がなされている、と高い評価を得ました。



附属中学校の授業視察  
(左から) 堤菜穂子文部科学省教員養成企画室教育大学係長  
高田行紀室長、渡辺裕人本学経営企画部長  
西村公孝副学長・附属学校部長、大泉計附属中学校長

## 四国地区で初となる日本税理士会寄附講座を開設

2018年度から寄附講座「社会科・公民科教材論」を開設しました。

本寄附講座は、日本税理士連合会が事業の一環として全国の国公立大学に寄附講座を開設し、大学での租税教育を援助しているもので、四国地区では鳴門教育大学が初めての開設となります。

寄附講座は、今年度から2020年度まで開講し、児童生徒に税の知識教養を教授できる教員を養成するとともに、租税教育の授業モデルの開発に取り組みます。

2017年12月20日(水)に開催された租税教育を担う教員養成助成金目録贈呈式  
神津信一 日本税理士会連合会会長(左)と山下学長

